

-----4月13日-----

今週のアウトルック（4/13～4/17）

先週ドル円は101円50銭付近まで上昇しました。第一目標としては102円台を考えていたので、目標達成と考えるには中途半端な気がします。

ただその後、NYダウは8000ドル超え、日経225先物は9000円超えを達成したにもかかわらず、ドル円は更なる上値を追うような展開にはなりませんでした。

2月始めからの上昇トレンドがいったん終了と考えるにはまだ少し早い気もしますが、一応その可能性も考えています。

高値が101円50銭付近ということも非常に中途半端で判断が分かれるところだと思います。

今週は米国金融関係の決算がいくつも発表されます。特に17日のシティバンクの決算は注目度が高いところだと思います。それまでは為替、株ともにレンジを行ったりきたりという可能性が高そうですが、特に良好な結果を裏付けるような発言やレポートには反応する可能性は大きいと思います。

今の株価は金融関係の底打ちを裏付ける内容が織り込まれていて、期待を裏切るような結果であれば株、為替とも下落するという考え方が一般的なのですが、今の米国の相場心理はそうもならないかもしれません。

多少期待を裏切るような内容でも、ポジティブに受け止めて株価、為替ともに上昇してしまう、そんな相場心理の高揚感がNY市場にはあるように思います。

今週のドル円は基本的には100円から101円程度の狭いレンジを想定しています。ただ、決算関係のニュースで大きく動いてしまう可能性は大きいと思います。99円以下あるいは、102円以上に動きそうな状況があったときは動き出したトレンドについていこうと考えています。

ユーロ円はユーロ圏各国の突発的なニュースに左右される可能性は大きそうです。特にアイルランドの金融関係のニュースには注意する必要があります。

基本的には130円から136円あたりのレンジを想定しています。ただ、一時期よりも上昇力はだいぶ落ちているようなので、

136円を超えるよりも、130円以下への上落への可能性が幾分高いように思います。

ポンド円は151円台を達成することにより、中期的な目標をクリアしたと考えたいところですが、ドル円が102円を超えるようなことがあれば、更なる上値を目指す展開になる可能性があります。

基本的には145円から150円あたりのレンジを想定していますが、ドル円が101円あたりで跳ね返されるような動きが続けば、ポンド円も145円以下を目指す展開があってもおかしくないように思います。

今週はブル派とベア派がはっきり分かれた戦いになりそうです。こういった状況では、突発的なニュースに対する解釈が分かれてしまい、一時的に大きく乱降下ということもありますので、ストップの設定には注意が必要です。

*** 免責事項 ***

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。